

解答

一

- 問一 A 三 B 四 C 五
問二 ① ものが何重にもかさなる「いれもの」につつまれていること
② あれやこれやの雑多なもの ⑤ 豆腐
問三 じっさい人
問四 D エ E イ F ク G ウ H カ I ア
問五 のりもの
問六 たくさんのものを整理し、まとめるための「いれもの」のくふうをすること。
問七 K 美 L 実用
問八 「いれもの」がうつくしいと生活そのものがうつくしくなるということ。
「いれもの」がうつくしい「もの」であることによって、そのなかにはいるものの価値もすっかりかわってしまうこと。
問九 M オ N カ O イ P ア
問十 「いれもの」がよければ、中身もおいしく感じられること。
問十一 ウ
問十二 商品の価値を「いれもの」で判断する人が多かったから。
問十三 小さい
問十四 大器晩成
問十五 包容力が身についていく様子。
問十六 人間も「いれもの」であり、たくさんの情報を収容するという意味。
問十七 「いれもの」を大事にする生活をうけいれて、それを評価できる容量の大きさをもちたいという思い。

二

- 1 絶版 2 点呼 3 暗示 4 放牧 5 去就 6 系統 7 推測 8 従〔う〕
9 群〔がる〕 10 敬〔う〕

解説

一

問十 — 部⑥の後に着目します。日本の料理は「いれもの」の芸術であり、ごく素朴な料理でも、うつくしく盛りつけられていると、そのなかの料理をおいしいと思ひこんでしまうことがわかるのでこれらの内容をまとめて書き表します。

問十二 — 部⑦のそれとは、直前にある「きわめて実質的な『いれもの』に化粧品をいれて、女子組合員に安く売ること」を指しています。成功しなかった理由として、われわれが、ものごとを「いれもの」によってはかる習慣を、かなりむかしから身につけてしまっていることを説明しているので、商品の価値を「いれもの」で判断する人が多かったという内容をまとめて書き表します。